

平成 27 年度 大学院修士課程 鍛金専攻実技試験

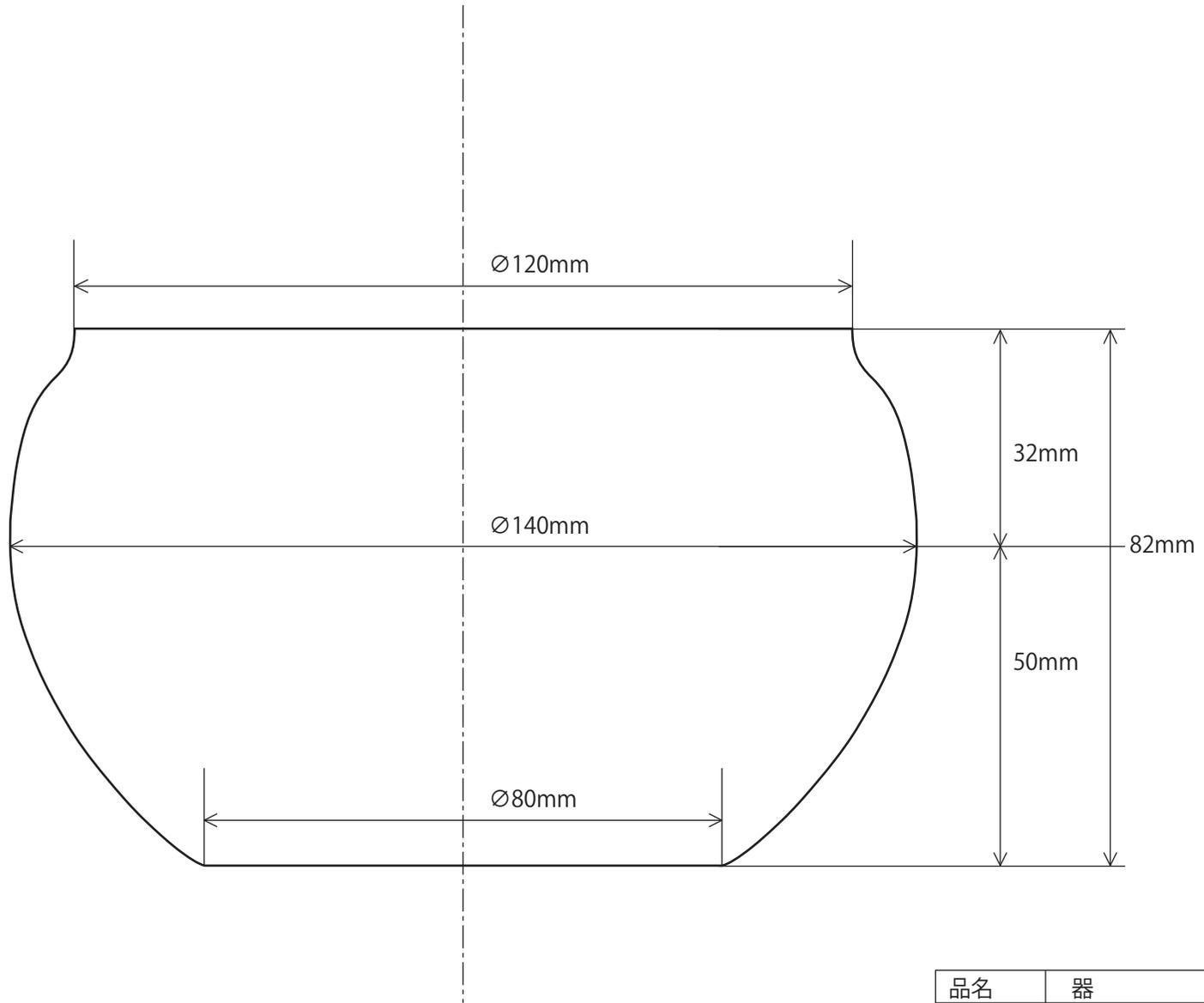
- 日 時 2月13日(金) 筆答試験 10:00~11:00
実技試験 10:00~16:00
(昼食は12:00~12:45の間に鍛金学生教室でとること)

○ 問 題

与えられた図面に従い器をつくりなさい

※クリアシートはゲージに加工してもよい

受験番号	
------	--



品名	器
材質	銅 t=1.0mm
製図者	鍛金研究室
縮尺	1/1
制作年月	平成 27年 1 月

平成 27 年度 大学院修士課程 鍛金専攻筆答試験

解答時間：10：00～11：00

問題 1 下記の（ ）に当てはまる語句を、[]には数字を記述しなさい。

- ・赤銅（烏銅）は（ ） []%と（ ） []%の合金である。
- ・四分一（朧銀）は（ ）と（ ）の合金である。
- ・日本工業規格において S50C とは炭素を約 []%含む炭素鋼鋼材である。
- ・一般的に金属加工で使われるドリルの先端切刃角は[]度である。
- ・ストレートシャンクドリルは通常、直径が[]mm以下である。
- ・雌ネジ加工において通常、M []のタップを使ってネジを切る場合、下穴 6.8 mmで穴をあける。
- ・銀鑑（五分鑑）の融点は[]℃で、成分比は銀 10 に対して真鍮 []である。
- ・100 円白銅貨などに使われる白銅は主に（ ）と（ ）の合金である。
- ・日本刀の制作に用いられる練鋼は（ ）とよばれる。
- ・18 - 8 ステンレス鋼は炭素鋼に（ ）を 18%、（ ）を 8%加えた特殊鋼である。
- ・銀器等に使われる 925 スターリングシルバーは銀 []%、銅 []%の合金である。
- ・Pt900 はプラチナを[]%含んだものである。
- ・彫鍛金で使用されるヤニの主成分は、松ヤニと（ ）と（ ）である。
- ・半田の主な成分は（ ）と（ ）である。
- ・鍛金で主に使用される真鍮は（ ）を 7 に対し（ ）が 3 の比率の合金である。
- ・銅を硫酸銅と緑青を入れた水溶液で煮る着色を（ ）着色という。このとき銅の表面に形成される皮膜は（ ）である。銅を硫化着色した場合、その表面には（ ）の被膜が形成される。

問題 2 用意された作品の作者名と作品について自己の見識をもとに素材、技法、歴史等を含め別紙の解答用紙に論じなさい。

問題 3 木目金の制作手順を別紙の解答用紙に記述しなさい。